

科目名	担当教員名	授業形態	単位数	資格	大学DP	学科DP	学習成果
演習	藤枝 律子	演習	4		1, 2, 3, 4	1, 2, 3, 5	1, 2, 3, 4
授業概要 授業目的	現代の行政とは、国民・住民といかなる関係にあるのか、判例研究を中心として多様な観点から検討を試みる。学期の前半はディベート、後半は各個人の興味関心のあるテーマでの報告の形式で行う。						
到達目標	議論・検討を重ねた後、卒業論文の形にまとめ上げることを目標とする。						
回	学習内容	回	学習内容				
1	卒業論文のテーマを探す	16	社会保障制度				
2	文献の使い方・研究倫理	17	まちづくり行政				
3	文献・資料の収集	18	教育行政				
4	行政に対する法的拘束	19	環境行政				
5	適正手続の原則	20	警察行政				
6	法治主義と信頼保護の原則	21	都市計画				
7	行政準則の裁判による統制	22	地方自治				
8	行政計画の適法性要件	23	公共交通				
9	行政行為の手続の適法性	24	国家賠償法1条				
10	行政行為の実質的適法性	25	国家賠償法2条				
11	裁量権行使の適法性	26	損失補償				
12	行政行為の撤回	27	結果責任に基づく国家補償				
13	行政指導と行政手続法	28	原告適格				
14	行政代執行制度	29	処分性				
15	行政上の制裁制度	30	行政事件訴訟における仮の救済				
予習内容 復習内容	予習:ディベートの判例・資料を読んでおく。 復習:演習時に示す教科書の該当箇所・資料・判決文に目を通す。						
教科書	参考資料等は、各回のテーマに合わせて提示をする。						
成績評価	・平常点(出席20%、ゼミでの報告や議論など30%)及び卒論作成(50%)で総合的に評価する。						
実務経験							
その他 特記事項							